

2022年2月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+8.0	立 川 店	+2.5
堺 店	△6.9	大 宮 店	△3.7
京 都 店 ※1	△1.6	柏 店 ※1	△4.3
泉 北 店	△7.9	(株)高島屋各店計	+3.2
日 本 橋 店	+5.0	岡 山 高 島 屋	+3.6 ※2
横 浜 店 ※1	+4.4	岐 阜 高 島 屋	△8.6
新 宿 店	+11.0	高 崎 高 島 屋	△3.4
玉 川 店	△1.7	(株)高島屋各店および 国内百貨店子会社計	+2.8

※1. 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

※2. 2021年2月に営業を終了した「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」の売上を含む前年実績との対比です。

■ 概況

○2月度の店頭売上は、依然として新型コロナウイルスの影響を受けたものの、前年の緊急事態宣言による一部店舗の

営業時間短縮や外出自粛影響の反動に加え、高額品が引き続き好調に推移したことから、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比 +2.8%	前々年比 △4.8%
免税売上	前年比 +9.3%	前々年比 △42.0%
免税を除いた店頭売上	前年比 +2.6%	前々年比 △3.6%

○店舗別売上では、大阪店、日本橋店、横浜店、新宿店、立川店、岡山店が前年実績を上回りました。

○商品別売上（当社分類による15店舗ベース）では、紳士服、紳士雑貨、婦人雑貨、特選、宝飾品、呉服、美術、食料品が前年実績を上回りました。

以 上